吉井議員（自民会議）

平成 26 年９月 22 日
知　事　答　弁　実　録
（教育委員会）

（問）フレキシブルスクールに対する期待について

広島県・広島県教育委員会及び広島市・広島市教育委員会が，それぞれ設置する６校の高等学校の定時制・通信制課程を，県と市が共同で，従来の定時制・通信制課程の枠組みに捉われない，いわゆる「フレキシブルスクール」に再編整備することとし，今次定例会の補正予算案に，その基本設計費などが盛り込まれている。

この高等学校の設置は，平成１４年３月に高等学校の再編整備計画の中に示されて以来，１２年経って，ようやく具体化が決まったもので，長年に及ぶ懸案が動き出した背景には，湯﨑知事が松井広島市長との連携・協力を進めてこられたことが挙げられるが，これまでの県市連携の成果の中で，最も大きな成果の一つであると，高く評価をしている。

この高等学校は，「広島版『学びの変革』アクション・プラン」において，地域の成長・発展を支えることのできる人材から，国際機関など世界を舞台に活躍できるリーダーまで「厚みのある人材層の形成」を実現するための学校としても掲げられているが，どのような学校となることを期待しているのか，知事に伺う。

（答）

近年，高等学校の定時制・通信制課程には，勤労青少年に加え，高等学校の中途退学経験者，中学校時代に不登校傾向のあった生徒など，様々な事情や背景を持った生徒が在籍しているものと認識しております。

こうした生徒たちに，他者と協力・協働して社会に参画し，自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力を育成するなど，彼らの無限の可能性を引き出していくことが求められているものと考えております。

この度，県と広島市が共同で整備を進めているフレキシブルスクールにおきましては，個々の生徒の事情やライフスタイルに応じた柔軟な学びの形を提供することとしております。

また，自己の在り方・生き方や進路について考察させ，進路に応じて適切な教科・科目を選択できるようにすることともしており，こうしたことにより，

従来にも増して，子供たちが持つ潜在的な能力を開花させることができる学校になるものと考えております。

私といたしましては，県・広島市それぞれが培ってきたノウハウを生かしながらつくりあげていく，この学校に大いに期待するものであり，今後とも，教育委員会の取組をしっかりと支援してまいりたいと考えております。